



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場会社名 株式会社住友倉庫

上場取引所 東大

コード番号 9303 URL <http://www.sumitomo-soko.co.jp/>

代表者 (役職名) 社長 (氏名) 安部 正一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 米満 聡

TEL 06-6581-1183

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	34,015	4.3	2,541	2.9	3,142	4.4	1,882	2.6
23年3月期第1四半期	32,616	12.9	2,469	56.7	3,011	57.6	1,833	64.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,116百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △3,660百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	10.55	—
23年3月期第1四半期	10.28	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	228,644	114,136	47.9
23年3月期	228,377	112,941	47.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 109,457百万円 23年3月期 108,350百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,000	1.4	4,700	△4.7	5,200	△5.1	3,000	△8.8	16.82
通期	132,000	1.2	9,300	△3.2	10,200	△2.5	5,900	34.9	33.08

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、4ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項】四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	195,936,231 株	23年3月期	195,936,231 株
24年3月期1Q	17,610,468 株	23年3月期	17,602,905 株
24年3月期1Q	178,328,638 株	23年3月期1Q	178,394,796 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響を受け、生産・輸出が大幅に減少し、また個人消費も悪化する中、サプライチェーンの復旧により、企業の生産活動については上向きの動きが見られたものの、電力供給制限や円高の進行、海外経済の回復鈍化等が懸念され、本格的な景気回復に向けては依然として不透明な状況のまま推移しました。

このような情勢のもとで、当社グループは、物流事業では、国内において配送センター業務の円滑な運営に注力するとともに、日本・アジア間をはじめとする一貫輸送業務やサウジアラビアにおける現地物流及び同国を起点とする国際輸送業務の拡充に取り組み、また、不動産事業では、賃貸物件におけるテナントの確保及び賃料水準の維持に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間は、不動産事業は昨年末の一部テナントの退去等により減収となったものの、物流事業においては、港湾運送及び国際輸送を中心に貨物の取扱が増加したことにより、営業収益は340億1千5百万円と前年同期比4.3%の増収となりました。営業利益は増収効果に加え減価償却費等の減少もあり、25億4千1百万円と前年同期比2.9%の増益、経常利益も受取配当金の増加等により、31億4千2百万円と前年同期比4.4%の増益となりました。四半期純利益は、貸倒引当金繰入額を特別損失に計上しましたが、経常利益の増益により、18億8千2百万円と前年同期比2.6%の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①物流事業

倉庫収入は、貨物保管残高、貨物入出庫高ともに堅調に推移し、53億4千9百万円（前年同期比1.4%増）となりました。港湾運送収入は、コンテナ荷捌においてはアジア航路を中心に取扱が増加し、また、一般荷捌においては輸入貨物の取扱が回復したこと等から、98億6千8百万円（前年同期比6.4%増）となりました。国際輸送収入は、航空貨物や海外子会社における現地物流の取扱拡大等から、66億9千4百万円（前年同期比6.0%増）となりました。陸上運送ほか収入は、飲料の取扱増加や関東、中京地区等における輸送業務の取扱拡大等により、陸上運送収入が増収となり、97億8千7百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

以上の結果、物流事業全体の営業収益は316億9千8百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は21億2千6百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

## ②不動産事業

不動産事業では、昨年末の一部テナント退去等により、営業収益は24億1千5百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は13億9千4百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

(注) 1. 上記のセグメントの営業収益には、セグメント間の内部営業収益9千9百万円（前年同期1億3百万円）を含んでおります。

2. 上記のセグメントの営業利益は、各セグメントに帰属しない全社費用等9億7千9百万円（前年同期8億9千6百万円）控除前の利益であります。

## セグメント別の営業収益内訳

内訳	前第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	前年同四半期比増減	
			増減額	比率%
物流事業	30,149百万円	31,698百万円	1,549百万円	5.1
（倉庫収入）	(5,273)	(5,349)	(75)	(1.4)
（港湾運送収入）	(9,277)	(9,868)	(591)	(6.4)
（国際輸送収入）	(6,313)	(6,694)	(381)	(6.0)
（陸上運送ほか収入）	(9,285)	(9,787)	(501)	(5.4)
不動産事業	2,570	2,415	△155	△6.0
（不動産事業収入）	(2,570)	(2,415)	(△155)	(△6.0)
計	32,719	34,114	1,394	4.3
セグメント間内部営業収益	△103	△99	3	3.9
純営業収益	32,616	34,015	1,398	4.3

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態について、資産合計は、減価償却による有形固定資産の減少がありましたが、「現金及び預金」の増加等により流動資産が増加したため、前連結会計年度比0.1%増の2,286億4千4百万円となりました。また、負債合計は、法人税等の支払に伴う「未払法人税等」の減少等により、前連結会計年度比0.8%減の1,145億8百万円となりました。純資産合計は、四半期純利益の計上等に伴う「利益剰余金」の増加等により、前連結会計年度比1.1%増の1,141億3千6百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により22億1千8百万円の増加となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入等により23億8百万円の増加となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、期末配当金の支払や長期借入金の返済による支出等により10億4千6百万円の減少となりました。

当第1四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローは、以上の結果に「現金及び現金同等物に係る換算差額」(1億8千5百万円)を加えた全体で36億6千6百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、189億1千5百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績が概ね計画通りに推移していることから、連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間及び通期とも、平成23年5月12日に公表しました予想数値を据え置いております。

なお、平成23年6月11日付で「当社子会社による米国ウエストウッド シッピング ラインズ社の株式取得契約締結のお知らせ」を公表しておりますが、これに伴う業績予想の修正は、現時点では、特に要しないものと見込んでおります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社においては、税金費用の計算にあたり、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算し、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,875	29,647
受取手形及び営業未収入金	16,619	16,828
有価証券	4	4
販売用不動産	112	112
仕掛品	27	55
繰延税金資産	988	757
その他	3,125	3,500
貸倒引当金	△100	△122
流動資産合計	49,652	50,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,558	58,693
機械装置及び運搬具(純額)	3,317	3,254
工具、器具及び備品(純額)	672	635
土地	46,222	46,224
建設仮勘定	733	997
その他(純額)	54	57
有形固定資産合計	110,558	109,862
無形固定資産		
のれん	587	561
借地権	4,330	4,343
ソフトウェア	1,798	1,825
その他	374	415
無形固定資産合計	7,090	7,146
投資その他の資産		
投資有価証券	53,343	53,372
長期貸付金	610	638
繰延税金資産	480	491
その他	7,094	6,954
貸倒引当金	△454	△604
投資その他の資産合計	61,075	60,852
固定資産合計	178,725	177,861
資産合計	228,377	228,644

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	9,051	9,291
短期借入金	8,925	9,060
未払法人税等	1,665	1,007
賞与引当金	1,380	992
その他	5,068	5,242
流動負債合計	26,091	25,593
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	59,492	59,186
繰延税金負債	12,856	12,656
退職給付引当金	3,219	3,338
役員退職慰労引当金	94	84
長期預り金	12,346	12,367
その他	835	781
固定負債合計	89,344	88,915
負債合計	115,436	114,508
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	21,822	21,822
資本剰余金	19,176	19,175
利益剰余金	65,850	66,841
自己株式	△9,150	△9,153
株主資本合計	97,698	98,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,548	12,350
為替換算調整勘定	△1,895	△1,579
その他の包括利益累計額合計	10,652	10,771
新株予約権	79	79
少数株主持分	4,511	4,599
純資産合計	112,941	114,136
負債純資産合計	228,377	228,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益		
倉庫収入	5,273	5,349
港湾運送収入	9,277	9,868
国際輸送収入	6,313	6,694
陸上運送収入	6,436	6,913
物流施設賃貸収入	1,297	1,247
不動産賃貸収入	2,461	2,311
その他	1,557	1,631
営業収益合計	32,616	34,015
営業原価		
作業諸費	18,685	19,970
人件費	4,207	4,280
賃借料	1,938	1,923
租税公課	513	497
減価償却費	1,376	1,301
その他	1,627	1,653
営業原価合計	28,349	29,626
営業総利益	4,267	4,388
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	888	936
賞与引当金繰入額	175	166
退職給付費用	58	54
のれん償却額	24	26
貸倒引当金繰入額	—	23
その他	648	639
販売費及び一般管理費合計	1,797	1,847
営業利益	2,469	2,541
営業外収益		
受取利息及び配当金	618	691
持分法による投資利益	136	136
その他	46	50
営業外収益合計	801	878
営業外費用		
支払利息	203	188
寄付金	1	70
その他	55	18
営業外費用合計	260	277
経常利益	3,011	3,142

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	27	18
特別利益合計	27	18
特別損失		
固定資産除却損	—	34
貸倒引当金繰入額	—	148
投資有価証券評価損	34	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32	—
特別損失合計	66	183
税金等調整前四半期純利益	2,971	2,978
法人税、住民税及び事業税	726	847
法人税等調整額	321	156
法人税等合計	1,048	1,003
少数株主損益調整前四半期純利益	1,923	1,974
少数株主利益	89	91
四半期純利益	1,833	1,882

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,923	1,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,745	△207
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	159	339
持分法適用会社に対する持分相当額	0	11
その他の包括利益合計	△5,583	142
四半期包括利益	△3,660	2,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,752	2,001
少数株主に係る四半期包括利益	91	115

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,971	2,978
減価償却費	1,538	1,471
のれん償却額	24	26
引当金の増減額(△は減少)	△567	△107
受取利息及び受取配当金	△618	△691
支払利息	203	188
持分法による投資損益(△は益)	△136	△136
有形固定資産除却損	—	34
投資有価証券評価損益(△は益)	34	—
売上債権の増減額(△は増加)	287	△290
仕入債務の増減額(△は減少)	△352	202
その他	△99	△374
小計	3,287	3,299
利息及び配当金の受取額	628	711
利息の支払額	△334	△297
災害損失の支払額	—	△22
法人税等の支払額	△3,033	△1,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	547	2,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,769	△5,694
定期預金の払戻による収入	6,390	8,600
有形固定資産の取得による支出	△359	△614
有形固定資産の売却による収入	57	50
無形固定資産の取得による支出	△132	△51
投資有価証券の取得による支出	△8	△7
子会社株式の取得による支出	—	△239
貸付けによる支出	△40	△47
貸付金の回収による収入	173	21
その他	△19	290
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,291	2,308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,806	2,662
短期借入金の返済による支出	△2,513	△2,511
長期借入れによる収入	100	30
長期借入金の返済による支出	△562	△352
配当金の支払額	△840	△840
その他	△31	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,040	△1,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	97	185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	895	3,666
現金及び現金同等物の期首残高	10,484	15,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,379	18,915

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	30,146	2,469	32,616	—	32,616
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2	100	103	△103	—
計	30,149	2,570	32,719	△103	32,616
セグメント利益	1,892	1,474	3,366	△896	2,469

(注) 1. セグメント利益の調整額△896百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△916百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はない。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	31,696	2,318	34,015	—	34,015
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2	96	99	△99	—
計	31,698	2,415	34,114	△99	34,015
セグメント利益	2,126	1,394	3,521	△979	2,541

(注) 1. セグメント利益の調整額△979百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△939百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はない。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。